

## 「四季・植物」 22 杉

学名 *cryptomeria japonica* D. Don

スギ科の常緑高木

中国の「杉」は同じスギ科の「広葉杉」学名 *cunninghamia lanceolata* Hook. をさす。

### 郷土資料から見た「杉」のあれこれ

杉は昔から建築材・工芸用材として広く使われてきた。燃料としても使われ、一握りの杉の実を夜、火を休めるときに入れておくと、翌朝まで火種が残っていたという。

杉の巨木は神を奉る神聖なものとされ、神木となっている木が全国にあり、杉にまつわる伝説も多い。柏崎にも文化財に指定されている大杉が何本かあり、「一本杉」または「千本杉」と呼ばれる久之木の大杉は京都見物に、黒姫神社の大杉はお伊勢参りに、人間に化けて出かけたという伝説が残されている。二本とも樹齢およそ八百年の大木である。

戦後、日本では住宅用木材調達のため杉の植林政策がすすめられ、現在造林面積の多くを杉が占める。杉の花は風媒花であるため、春には大量の花粉が風に撒き散らされ、杉花粉によるアレルギー症状「花粉症」に苦しむ人が現れるようになる。

昔から杉は身近な木であり「杉の花」は春の季語となっているが、花粉情報がニュースで伝えられる時代では「杉の花」に風情を感じることは難しいかもしれない。

#### 参考資料

「柏崎市史資料集 民俗篇」	柏崎市史編さん委員会編	1986	「日本大百科全書」	小学館発行	1994
「現代免疫学物語」	岸本忠三・中嶋彰共著	1999	「図説 花と樹の大辞典」	植物文化研究会・雅麗篇	1996
「柏崎の名木」	柏崎植物友の会著	1983	「柏崎市伝説集」	柏崎市教育委員会編	1972